

「信頼され続ける水道」の実現のため
滝沢市水道事業後期経営計画を策定しました

第1次滝沢市総合計画と連動し、水道事業の施設整備・経営の指針となる水道事業経営計画(基本計画)について、滝沢市上下水道事業経営審議会(以下このページでは経営審議会といいます。)からの答申を踏まえ、基本計画の見直しを実施し、後半4年間の後期経営計画を策定しました。

滝沢市水道事業の目指すべき方向

基本理念

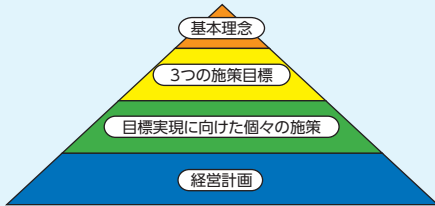
信頼され続ける水道

施策目標

安心・安全 安心して飲むことができる安全な水道

安定・強靱 安定した給水を実現する強靱な水道

環境・持続 環境に配慮した持続可能な水道



【ビジョン目標年度】

令和4年度

【経営計画】

4年間の実施計画

- ◆前期経営計画 目標年度:平成30年度
- ◆後期経営計画 目標年度:令和4年度

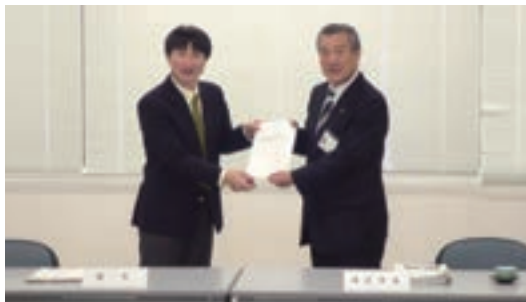
何を決めているの？

基本理念実現に向けて、「安心・安全」「安定・強靱」「環境・持続」の施策目標を達成するための取組である整備計画や財政計画を定めています。具体的には、「安心・安全」の実現に向けた、地下水の比率をより高める取組の設定、「安定・強靱」の実現に向けた、配水管の整備や老朽管更新の計画の策定と、これら更新等の需要に応えるための事業費の見積もりを行い、これらを踏まえた財政の見直しを立てて、「環境・持続」の実現につなげていきます。

経営審議会からの答申(要約)

市は、水道事業経営計画(基本計画)の見直しと後半4年間の経営計画の策定について、経営審議会に諮問しました。経営審議会は、水道事業の現状と将来的な動向、課題等を踏まえ、更新需要の把握と投資の平準化に基づく財政計画案をもとに、水道経営のあり方に関し慎重に審議を重ね、市に答申を行いました。ここでは、答申の内容を要約してお伝えします。

- ★水道「ビジョン」の基本理念を実現するための3つの施策に対して答申
- ・「安心・安全」に対し、水源の確保と保全、安全な水の供給をすること。
- ・「安定・強靱」に対し、水道施設の最適化、災害応急対策の充実、給水区域の拡大をすること。
- ・「環境・持続」に対し、顧客サービスの向上、環境対策の推進、財政の健全化等すること。



★適正な水道料金のある方について答申

・料金水準について

資産維持率(今後の水道施設の維持管理や耐震化の財源を適正に確保するための資産更新の割合)を2.5%とした総括原価を基本とする水道料金改定が望ましい。今回は、過度の負担増とならないように2.0%として算定し、2.5%への段階的な改定を行うことが必要である。

・料金体系の見直しについて

基本料金における、施設を適切に維持していくために必要となる固定的な費用の割合を高めるべきである。

・基本水量制の廃止について

基本水量制の廃止に係る暫定措置について、激変緩和措置の実施から9年目を迎え、十分な期間が経過したことから、廃止すべき時期にきていると考える。

おしらせ



消費税率の引上げに伴い
10月使用分から水道料
金・下水道使用料が変わ
ります

消費税率及び地方消費税率について、令和元年10月1日から、引き上げることとされています。

これに伴って、令和元年10月使用分(11月に検針され、請求される分)から、水道料金・下水道使用料が変わります。

詳しくは、市のホームページや検針票などでお知らせしていきます。

※経営計画及び答申は、市ホームページに掲載しております。ご覧ください。